

産学官の連携を支援します!

(公財)かがわ産業支援財団

当財団は、県産業成長戦略に沿って、産学官が連携して行う研究開発などを多くのメニューで支援しています。

商品化のための調査・研究に対する助成事業(6~8月頃公募)は、これまで34件採択したほか、国の戦略的基盤技術高度化支援事業(1~4月頃公募)には、事業管理機関として、パイオや材料分野での研究開発など、これまで9件の案件に取り組んできました。

また産業技術の高度化などに貢献された個人やグループを表彰する芦原科学賞の顕彰事業(8~10月頃公募)も行っています。ぜひお気軽にお問い合わせください。



(公財)かがわ産業支援財団
技術振興部 産学官連携推進課 ☎087-840-0338
高松市林町2217-16 FROM香川1階



大藪さん、都村和史常務取締役、稲田さん(左から)



4方向から見られる大型ビジョン



BMXフリースタイルのセクション(クォーターランプ他)



都村尚志会長

「会社見学に来た小学生に『どうしてそんなに長く会社が続けているんですか』と質問されたとき、私も『はて?』と考えました。高度な製造技術や最新鋭の機械があるわけではない。ただ、各時代のニーズを模索し失敗しながらも、必要とされるものを愚直に形にできたことが、実績や経験となって脈々と積み重なっているのでしょう」と語る、代表取締役会長の都村尚志^{なかし}さん。

創業明治26年、体育器具・公園遊具の専門メーカーとしては、国内で草の難度や見栄えに直結します。そのセクションの製造・設置を手掛ける国内随一のメーカーとして、競技団体や選手と二人三脚でのづくりを進め、9月の全日本選手権で同社製のセクションが使われました。

高い安全性と強度、独自の衝撃吸収構造は、世界で戦うトップ選手たちにも高く評価されています。設計担当の稲田稔さんは「選手の反応が直接伝わり、大会が成功すると私たちがもうれしい」と感慨深げ。製造担当の大藪幸造さんは「選手ファーストのものづくりで、一緒に種目を盛り上げていきたい。私も物事をポジティブに楽しむことを学び、勇気をもらっています」と語ります。

選手が完璧なパフォーマンスをできるようにと思いを込めたものづくり。さらに難易度の上がる世界大会に向けて「チーム一丸となってツムラ発、香川発で支えたい」と意気込みます。「誰でも作れるものだからこそ、我々は常に改良し勉強し、走り続けなくてははいけません」と都村さん。スポーツの裾野を広げ、健やかなスポーツライフを支える同社の挑戦は続きます。

選手と二人三脚で オンリーワンへ

エンタメ化するスポーツ 新しい楽しみ方を提案

アスリートと手を取り合い スポーツを盛り上げたい

挑戦する かがわの ものづくり企業

他にないものを追求し続けて125年。子どもの遊具からトップアスリートが競うフィールドまで、あらゆる世代の「体を動かす楽しさ」を支え発信してきた香川の企業の、新しい挑戦とは。

株式会社都村製作所

住所 琴平町榎井590番地
創業 1893年
☎0877-73-2251
<https://www.tsumura-f.co.jp/>



問い合わせ先
(公財)かがわ産業支援財団 産学官連携推進課
☎087-840-0338